



口加だより

平成27年8月31日発行
長崎県立口加高等学校
第5号

あやめが丘の窓から

欲窮千里目 更上一层楼

校長 下 釜 祐 保



8月初日は、和歌山で迎えた。インターハイの応援に出かけたのだ。連日36度を超える猛暑の中での大会。大会第3日午前11時40分、予選の時を迎えた。

第3組第5レーンにオレンジのユニフォームは登場した。電光掲示板に映る高木駿一君（本校3年）の表情は気迫と輝きに満ちていた。そして、いよいよレースが始まった。

「口加」の文字を刻したハチマキが風になびく。私は終始目を離すことはなかった。1分53秒73。2着でゴール。無事に準決勝への進出を決めた。「ひとまずおめでとう、勝負は次だな」。そう、一人で叫んでいた。



15時10分、準決勝。予選のタイムを確認する。さすがに、県大会、ブロック大会を勝ち抜き、予選を突破した日本中の高校生トップランナーばかりだ。ただただ手を合わせ、スタートを見つめた。結果は、惜しくも8名中5位でファイナリスト入りを逃してしまった。すぐに、健闘をねぎらうために選手のもとへ駆け寄った。試合直後の表情は悔しさに満ちていた。悔しさにもレベルがあろう。彼の表情は、まさしく全国大会レベルの悔しさで、県大会や九州大会とは異なる。日本中から勝ち上がる8名のファイナリスト入りを逃した表情だった。この思いは、全国大会を制することでしか晴らせないのだろう。秋の国体もまた和歌山のあのトラックだ。ファイナリスト入りをかけた者なりの努力と準備で、今度こそ凱旋を期待する。

この夏には、日々の補習、部活動、合宿、遠征、コンテスト、オープンキャンパス、ボランティア等々、意欲的に取り組む口加生の姿に感心したものだ。夏に流した汗の分だけ、グッと夢に近づいた。明日から第2学期だ。夏に鍛えた逞しさを基盤に、一段高いレベルで次の努力に取り組もう。夏にレベルアップした分、広い視野を持ち、日々の努力に邁進して欲しい。

表題は、「イー・チョン・チェン・リー・ムー グン・シャン・イー・ツン・ロウ」と読み、「一段高く上れば、見える景色は違う」という意味の中国の格言である。夏に努力して一段高い菖蒲が丘に立つ者には、一段高いレベルの努力と学びが待っていることを、高木駿一君の全力疾走が教えてくれた。



9月 行事予定

日(曜)	全校	1年	2年	3年
1日(火)	始業式			
2日(水)	体育祭予行(4日(金)が予備日)			
3日(木)	代休日(9/5)			
5日(土)	体育祭会場設営			
6日(日)	体育祭			
7日(月)	代休日(9/6)			
8日(火)	補習再開/体育祭予備日			
12日(土)	補習		小論文模試	
16日(水)	生徒会各種委員会			
17日(木)	薬物乱用防止講話			
18日(金)	考査時間割発表/生徒会各種委員任命式			
19日(土)				対外模試(～20日)
24日(木)	補習中断		L:進路講演会	
29日(火)	中間考査第1日目			
30日(水)	中間考査第2日目			

《その他の行事》

- 生活創造コース……………9日(水)3年介護体験
18日(金)2年乳幼児親子交流③
- 野球部……………19日(土)九州大会県予選(～27日)
- バスケット部……………19日(土)中地区リーグ(～20日)
- ソフトテニス部……………19日(土)地区新人戦(～20日)
- ソフトボール部……………19日(土)県新人戦(～20日)
- 進路指導関係……………19日(土)進研ゼミナール、2年チーム東大合宿



オープンスクール 139名の参加者！

8月5日(水)オープンスクールを開催いたしました。今回は暑い中、遠方の参加者も含め139名の中学生が集い、EZ教室体験や授業体験、部活動体験を通じて口加高校を知ってもらいました。中でもEZ教室体験では、中学生・保護者から「楽しく授業が受けられる」というお声を多数聞くことができました。また初の企画だった中学校別集会では、各中学校の卒業生が後輩へ、学校の説明や学校生活におけるアドバイスなどを話し、中学生は興味深く聞き入って情報収集に努めていました。



体育祭のお知らせ

9月6日(日)に開催いたします。どうぞ皆様でご来場ください。(雨天の場合8日(火))

各学年 学習合宿を終えて・・・

3年

今年の学習合宿は、昨年度までの雲仙から島原の「ホテル南風楼」へと場所を移し、5泊6日の日程で7月22日（水）から27日（月）に実施しました。

それぞれの受験の日が刻一刻と迫ってくる中、基礎基本の定着を主眼に置いて事前に立てた学習計画をもとに真剣に自学に取り組みました。

総時間数3,610分、1日10時間超という長時間の学習にも関わらず、わずかな時間も惜しんで必死に努力する生徒が日に日に増えてきたのを見て口加生の底力を感じました。

また、今年は特に「質問」に積極的でした。全教科を合わせると500件にも及ぶ質問があり参加した生徒の意識の高さがうかがえました。

この合宿で身に付けた学習習慣が、これからの追い込みを活かされるよう、そして、最後まで粘り腰で目標達成できることを期待しています。お疲れ様でした。



2年

2年生は8月1日～3日、2泊3日で行いました。来年の受験へ向けて、長時間学習の忍耐力を養うこと、そして弱点科目の克服を目的に取り組みました。寝食を共にすることで友人や教師との相互理解も深まりました。



1年

1年生は8月3日～5日の2泊3日で行ないました。弱点科目の克服は勿論のこと、得意科目を伸ばし受験で戦える自分の武器を身につけることを目的に取り組みました。初めて導入された「15分午睡タイム」も効果的でした。



夕食は母親委員会のお母さんたちが作ってくださいました。ありがとうございました！

戦後70年 平和学習

8月9日(日)平和学習が行われました。戦後70年という年月が過ぎ、語り部の方々の高齢化が進む中、戦争の悲惨さを体験する機会が失われていくことが危惧されてる昨今。本校では医師永井隆博士のドキュメンタリー映像「長崎の鐘は鳴り続ける」を全校生徒・職員で鑑賞しました。博士の著書「この子を残して」の一部を放送部による朗読も併せて鑑賞し、戦争によって翻弄された永井親子の尊い絆を通して、戦争への理解や原子力に対する見方を学ぶことができました。



《2年出張講座》

8月24日（月）に2年生を対象として出張講座が行われました。長崎大学等から9名の先生をお招きし、学部別に講義を受けました。専門的な内容や進路選択の考え方に刺激を受け、まさしく意識の高揚につながりました。



《1年進路ガイダンス》

8月24日（月）に進路ガイダンスを行いました。「法律」「金融・マスコミ」「工業」「医療・福祉」の4コースに分かれ、施設見学や職場担当者から現場での貴重なお話をお聞きすることができました。進路実現に向けて、いい機会になりました。



今月の生活創造コース

○1日（土）図書館お話し会ボランティア（2年生）
今年度2回目となるお話し会を開催しました。



11日（火）長崎県家庭クラブ指導者養成講座参加（3年生）
昨年度事務局として会務報告と決算報告をおこないました。

24日（月）民間講師招聘事業（3年生）
香蘭ファッションデザイン専門学校 熊谷朋美先生をお招きし、菖蒲祭で行うファッションショーに向けて、美しく見せるウォーキングの方法を教えてくださいました。



夏の各種大会 結果報告！

☆高木駿一君・・・7/28～8/20 和歌山インターハイ出場し、決勝進出ならず。

『自分にとって集大成であった全国大会が終わりました。今大会が一番悔しかった大会でした。この悔しさを胸に、もう一度挑戦し国体という舞台で夢を叶えます。』

☆吹奏楽部・・・7/30 県吹奏楽コンクールに出場し、銀賞受賞。

『私達は、第60回吹奏楽コンクール長崎県大会で銀賞を受賞しました。目標としていた金賞受賞はできませんでしたが、自分達のベストの演奏をすることができました。応援してくださった皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。』

☆田口愛実さん・・・7/25 第62回「社会を明るくする運動」中高生弁論大会にて最優秀賞受賞。7/30 県大会で優秀賞受賞。

『他の人の弁論から様々なことを学べて、とてもいい経験になりました。「人前で自分の意見を伝える」という力を今後活かしていきたいです。』

☆多比良美弘さん・・・8/10・11 県音楽コンクール声楽部門に出場し、金賞受賞。

『力試しとしてコンクールに挑戦しました。ホールで歌うのは初めてで緊張しましたが、楽しく歌うことができました。改善点も見つかり、これからは活かしていきたいです。』

職員ペンリレー 中村 比勇先生

突然ですが、9月1日よりいよいよ2学期に入ります。4月から口加高校に来た私にとっては、非常にあっという間でした。そのように感じている私が口加高校のみなさんに伝えたいことがあります。それは、「計画的に時間を使う」ということです。部活動に専念する、勉強をする、友達と遊ぶなど、時間の使い方は人によりけりですが、高校生活という3年間は人生のほんの一部であり、そして非常に短い時間です。この3年間をどのように使うかはやはり自分次第です。もし、使い方を間違ってしまうと3年生になってから、「やばい、受験まで間に合わん・・・」、「いいかげん受験勉強しないと・・・」などと思う人がちらりほらり出現することも・・・。そのような事にならないようにするためには、1日=24時間=1440分=86400秒という限られた時間の中で、自分が今何をしなければならぬのかをしっかりと考え、「はじめ〇〇をする、次に△△をする」と計画を立ててから行動してみるのはいかがでしょうか？